

## 終 わ り に

エキスパートバンクや様々な機関の専門家派遣などで、企業を訪問し経営支援をする際には、どうしても対処療法的な処置をすることが多い。短期間にある程度の成果が出ることを望まれるから仕方がないことではあるが、ゴーイングコンサーンとしての企業を守り育てるために、長期的視点に立った支援をしていくことは、われわれ中小企業診断士の大きな役割の一つである。

そういう意味で「人こそ財——中小企業の人材育成に中小企業診断士はどう関わっていくべきか」と言うテーマで、今回我々が取り組んだ調査研究事業は、企業との長期的係わり合いを進めて行く場合の良いきっかけになるものと思われる。

さて、今回の調査研究事業を進めていく上で最も注意を払ったことは、調査研究自体の全体の色調の統一と流れをスムーズにすることであった。そのために、最初に全員で事業全体の構想をしっかりと把握した上で作業を分割した。そして、各人の作業を進める過程で常に「人材」の意味と「戦略的人材育成」の意義を意識しながら進めるように努めた。最後に、全員の持分を統合する時には、互いに齟齬がないようにしっかりと論議を重ねた積りである。

それでもってこの程度の出来か、とお笑いになる読者もあろうかと思うが、判りやすい報告書になるよう努めたところだけは汲み取って頂きたい。 (終)

中小企業診断協会・長崎県支部

調査研究事業委員会

相 田 雄二郎

田 代 拓 哉

辻 丸 義 人

藤 澤 雄一郎